



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590 / CHARTERED MAY 29, 1976 / WEEKLY BULLETIN

2005-2006年度RI会長
カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

超我の奉仕

2005～06年度
第2590地区ガバナー
金杉 誠



SERVICE Above Self

会 長	山本 登	副 会 長	吉田 隆男
副 会 長	山木 幹夫	会長エレクト	澁谷 高弘
幹 事	江森 国一	クラブ会報	高田 修
S A A	吉橋佐千男	会 計	館野 典久

- 事務局 / ホテルキャメロットジャパン内
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL:(314)3900 FAX:(314)3555
- 例会日 / 毎週金曜日 0:30～1:30 PM
- 例会場 / ホテルキャメロットジャパン
- 創立記念日 / 昭和51年5月29日
- URL / <http://www.kanagawahigashi.com/>
- E-mail / kerc@beach.ocn.ne.jp

【クラブテーマ】
原点に回帰。そしてロータリーを楽しもう。



撮影 高田 修 会員

【一之宮神社 (神奈川県入江町一丁目3番16号)】

2005-06年度第26号週報NO.1445

2006年(平成18年)1月20日 第1445回例会記録 1月27日発行

司 会 江森 国一 幹 事

点 鐘 山本 登 会 長

斉 唱 我等の生業

ゲスト紹介

高橋 哲也 様(スピーカー BOSE感性工学リサーチ株式会社)
山本 喜一 様 (BOSE 感性工学リサーチ株式会社)
増坂 浩一 様 (BOSE 感性工学リサーチ株式会社)

結婚記念日祝

飯田 昇 君 (1月7日)
中村 眞巳 君 (1月26日)
角田 伯雄 君 (1月28日)
高田 修 君 (1月29日)
白井 恒夫 君 (1月31日)

誕生日祝

飯田 昇 君 (1月20日)
白井 恒夫 君 (2月1日)

会長報告

山本 登 会長

◇淡水R.Cより、新年の挨拶状が届きました。
◇米山奨学会より、下記の方々に米山功労者の表彰品が贈呈されました。
飯田昇会員 (5回目)
吉橋佐千男会員 (1回目)

幹事報告

江森 国一 幹事

□例会変更のお知らせ

横浜鶴峰R.C 1月28日(土)→29日(日) 移動例会

神奈川西R.C 1月26日(木)→30日(月)

神奈川三クラブ合同夜間例会 点鐘18:00

2月23日(木)→移動夜間例会 点鐘18:00

□次週27日(金)の例会はありません。30日(月)神奈川三クラブ合同賀詞交歓会へ移動例会となり、点鐘は18時となっております。

□次週29日(日)に、桐蔭学院にて第4・5グループIMが13時より開催されます。出席予定者の方はお参加下さい。

□週報ご恵贈クラブ

ザ・ロータリアン

ロータリーワールド

タウンニュース

《1月30日》のプログラム

◆ 斉 唱 奉仕の理想・一月一日

◆ 献 立 洋食のコース

◆ 卓 話 「神奈川三クラブ合同賀詞交歓会」

委員会報告

西山 潔 親睦活動委員長

26日に親睦活動委員会を開催します。

河野 明光 前々幹事

直前会長・幹事慰労会の残金でシュレッダーを、月山勇直前会長・横山範夫直前幹事名でクラブ事務局に寄贈致しました。

永井 隆俊 第二テーブルマスター

本日、第二テーブルミーティングを当ホテルで開催します。

永井 隆俊 地区米山委員長

創立30周年の特別寄付をお願いします。

江森 国一 幹事

創立30周年記念実行委員会を開催します。

出席報告

山田 正憲 出席委員長

会員総数	62名	(45 + 17)名
出席会員数	39名	(34 + 5)名
出席率	75.56%	
ゲスト	3名	ビジター 0名
前回補正後	93.33%	前々回補正後 休会

スマイルボックス

加藤 仁昭 副SAA

角田伯雄君 結婚祝い有難うございます。

山本登君 寒い！！あらゆるところが縮み上がります。血管の収縮はヤバイです。皆様御自愛下さい。

江森国一君 29日(日)IM、30日(月)神奈川三クラブ合同賀詞交歓会、出席よろしくお願ひ致します。

永井隆俊君 岩澤会員、先日は大変お世話になりました。

古川陽太郎君 ①青柳さん、先日は大変御馳走になり有難うございました。②月山さん、立派なオンシジュームを有難うございました。玄関でデカイ面をしてフンゾリ返っています。

大西弘文君 気温40度の常夏の国カンボジアで正月休みをすごして、寒い日本へ帰ってきた途端風邪を引いてしまいました。アンコール・ワット研究の第一人者の石沢上智大学長に同伴して、世界遺産のアンコール・ワットやアンコール・トムなどをたっぷり研究してきました。

矢野修二君 所要により早退致します。

森永正昭君 寒の入り、皆様おかげに気をつけましょう。

雨宮和則君 BOSE(ボーズ)の皆様、本日は卓話にお越し下さりありがとうございます。

石川正三君・河野明光君 直前会長・幹事慰労会の残金6615円をスマイルへ。

加藤仁昭君 本年初めての例会出席となります。皆様には又一年間宜しくお願ひします。

1月20日	11件	30,705円
本年度累計額		1,439,290円

卓話

心の健康と音楽・音響機器の活用法

サウンドプロモーター 高橋 哲也 様

紹介者 雨宮 和則 会員



「BOSE」は設立者の名前です。自らもバイオリン奏者であるマサチューセッツ工科大学(M.I.T.)の教授アマー・G・ボーズ博士がスピーカーの測定結果と実際の耳に感じる音の違いに疑問を持ち、それを解析する為にM.I.T.の技術とスタッフを駆使して音響工学・物理学・材料工学・流体力学・心理音響学といったあらゆる学問から音を見つめ直し、独自のスピーカー理論を生み出しました。そしてこれらの研究結果がきっかけとなって1964年ボーズ・コーポレーションが設立されました。

ボーズ・コーポレーションはNASAやアメリカ合衆国の軍事計画にまで技術を提供しています。また世界一の豪華客船クイーンエリザベスIIやスペースシャトルの船内すべてにBOSEのスピーカーシステムが搭載されており、カルガリー、アルバービル、バルセロナ、長野で行われたオリンピックにも音響機器を提供しました。

今回の卓話では最新技術である「バーチャル・イメージングアレイ・システム」を用い、実際に音を楽しんでいただきながら、ミュージックセラピーについてお話いたします。

「身体と心に効く」とされる音は次の3つの要素から成り立っています。

1. 間接音による音の広がりや伝わり方
2. 重低音のバランス
3. 雑音のない原音再生

今までは沢山のスピーカーと巨大なウーハーを用いこれらの3要素を具現化するのが当たり前でした。ところが当社のスタッフが世界中のコンサートホールの音の響き方をチェックした結果、コンサートホールの「心地よい音」は90%の間接音と10%の直接音で成り立っていることをつきとめました。そし

てラジカセサイズでこのコンサートホールの音を再現するシステムを開発したのです。

既存のオーディオシステムでは特別なオーディオルームに沢山のスピーカーを配線し、一定の位置に座った一定の人しかこの素晴らしい音の効能を経験できませんでしたが、このシステムでは360度に音を発するため、どこでも・いつでも・部屋のどこにいても、全ての人がこの心地よい音の3要素を体感し、音楽セラピーを体験できるようになりました。ラジカセサイズですので巨大なウーハーが入らないスペース的に制限のある病院・施設等、あるいは野外でもお楽しみいただけます。

音楽の効能は2001年に音楽療法士という資格も出来、近年脚光を浴びています。アテネオリンピックにおける日本人選手の大躍進の背景にも実は各選手に合ったオーダーメイドの音楽セラピーがあったのです。この様にメンタルトレーニングには音楽の力は欠かせません。現在では各種疾病予防にピンポイントに効く音楽CDも発売されているほど、ストレス社会に生きる人類に今、音楽は欠かせない存在となっています。

1つづくに実行できるセラピーを紹介します。例えば寝る前の10分間、小さな音量で広がり感のある音楽をかけてみてください。ノンレム睡眠にすんなり入ることが出来、熟睡効果があります。しかし歌詞があると左脳が刺激されてしまうので、出来れば歌詞のない曲が望ましいです。その時にはスリープタイマーをお使いください。

また、お目覚めには5分間自然の音を交えた音源を目覚まし代わりにおかけになることをお勧めします。電子音で唐突に叩き起こされるのではなく、ごく自然な目覚めを得ることができます。

人間は「音楽を聴いてくつろぐ」といったいつまでも変わらない欲求を持っています。BOSEではその欲求を満たす為に「自然に聴こえる音楽の再生」を最大の使命と考えています。

◆◆◆ 『友』 インターネット速報 ◆◆◆

【パキスタンの地震被害者に500万ドルの支援】

地元の、そして世界中のロータリークラブと地区が、10月8日にパキスタンで発生した大地震の被害者に、500万米ドルを超える緊急支援をしました。

「3,000人以上の地元ロータリアンとローターアクターが、カシミールや北西地方で、被害者の窮状に対し、すばやく援助の手を差し伸べた」と第3270地区（パキスタン）ガバナー、モハメッド・キッドウェイ氏は述べています。また、医療チームを含めて、世界各地から集まったロータリアンが、効果的な活動をしているものの、厳しい冬の中で住まいを奪われた

500万人以上の被害者を救うには、さらに多くの支援が必要だと、氏は報告しています。

現在、同地区は、ユニセフや世界保健機関とともに、復興に必要なプロジェクトをすでに企画しており、そのプランは、近々、ムシャラフ・パキスタン大統領から発表される予定です。

ウィリアム・ボイドRI会長エレクトも現地を視察し、多大な被害を目の当たりにして、さらなる支援を呼びかけています。

【2007 - 09年度RI理事ノミニー決定。日本からは小沢氏】

2007 - 09年度国際ロータリー(RI)理事会の新メンバーが、2006年のマルメ・コペンハーゲン国際大会で選挙されます。エドウィン・フタ事務総長は、9つ(2、5、13、17、20、22、24、28、30)のゾーンからの6人の候補者に対して、12月1日までに対抗候補者の申し込みがなかったと報告。

それを受け、カール・ヴィルヘルム・ステンハマーRI会長はRI細則に基づき、それらの候補者を正式に理事ノミニーに指名しました。ゾーン2(日本)からは、第2780地区、横須賀ロータリークラブの小沢一彦氏が指名されています。

小沢氏は、日本水産観光株式会社代表取締役。1978年にロータリークラブに入会し、1994 - 95年度にクラブ会長、2000 - 01年度ガバナーを務めました。

【RI会長ノミニーが正式に決定】

2005年12月5日に、RI会長指名委員会によって選出された、カナダ・オンタリオ州トレントンRCのウィルフリッド J. ウィルキンソン氏が、1月5日、正式に2007 - 08年度RI会長ノミニーとなりました。

【ステンハマー会長のジャケットが落札】

ステンハマーRI会長のリバーシブルジャケットがインターネットオークションにかけられてから、およそ3か月。接戦をものにして、イタリア・リミニリベラRCのブルーノ・ギジ氏が、5,000米ドルで落札しました。この5,000ドルは、予定通り、全額ロータリー財団に寄付されます。ギジ氏は、ヨーロッパの小国、サンマリノ共和国の出身。これまでもロータリー財団に多大な貢献をしており、夫妻でメジャードナーとなっています。

【南アジア、中東でポリオ撲滅に向けて】

南アジアの数万人のロータリアンたちは、2004年に発生した津波災害からの復興に向け尽力をしてきましたが、この間もポリオのない国づくりのため、さらなる活動を展開しています。昨年11月には、インドとパキスタンのロータリークラブが、ポリオ撲滅に向け、大規模な活動を展開。パキスタンで11月22 - 24日、2,900万人以上の子どもたちを対象に全国予防接種日(NIDs)を実施しました。これら活動の結果、パキスタンと隣国のアフガニスタンでは昨年、ポリオ発症件数が28件と、2004年の5割減。インドではポリオ流行期(8 - 10月)

の発症件数が昨年 25 件で、2004 年の 68 件、2003 年の 79 件と比べ、大幅減となっています。

また、昨年 12 月初めにメッカで開催されたイスラム諸国の会議で、サウジアラビアはポリオ撲滅のため 266 万米ドルを寄付することを発表しました。サウジアラビアは、ナイジェリア北部での経口ポリオワクチンのボイコットを中止させる調停と、サウジ入国者のワクチン投与を確認。サウジ政府がホスト役を務めたイスラム諸国会議機構（OIC）の共同宣言（12 月 8 日に発表）の中でもポリオ撲滅の重要性が強調されました。

□□□□ 【地区公式文書】 4 分間情報 □□□□

12. ロータリー米山奨学事業のあらまし

（1）歴史・沿革

（2005 年 6 月 28 日現在）

1. ロータリー米山奨学事業とは

（財）ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリー・クラブ会員の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学財団です。

1967 年に財団法人として設立の許可を受け、これまでに世界 104 の国・地域出身の 12,707 人（2005 年 4 月現在）におよぶ外国人留学生を支援し、今日では、事業規模と採用数において、民間で最大の奨学団体（*）となっています。

*（財）助成財団センター発表の助成等事業費上位 100 財団（2003 年度）において、米山奨学会は年間助成額：17 億円で第 3 位、民間主導型財団では第 1 位となっています。

2. 世界の平和を願って始まった奨学事業

米山奨学事業の歴史は、50 年以上前にさかのぼります。

敗戦後の復興が続く 1952 年、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の功績を記念して、東京ロータリークラブによって「米山基金」が設立されました。日本のロータリーが国際ロータリーに復帰して 3 年後、米山梅吉氏がそれを見ずして、奉仕に捧げた生涯を終えてから 6 年後のことです。米山梅吉氏が生

前、東南アジアに深い関心をもっていたことから、ロータリー財団の国際奨学制度に模して、アジア諸国から奨学生を招致しようというのが基金設立の目的でした。そして、2 年にわたる募金活動の後、1954 年にタイから第 1 号奨学生となるソムチャード氏を招聘したのです。氏は、東京大学で養蚕学を研究し、帰国してからはタイの蚕糸局に入局、タイシルクの増産に貢献しました。

米山奨学金の創設の目的は、日本が再び戦争の過ちを繰り返さない誓いと、世界に“平和日本”の理解を促すことにありました。留学生が平和を求める日本人と出会い、互いに信頼し合う関係を築き、「世界の懸け橋」となることを願ってつくられたのです。

3. 日本のロータリー独自の「多地区合同奉仕活動」として大きく発展

東京ロータリー・クラブ単独の「米山基金」は、ソムチャード氏を含めて 3 名の奨学生に奨学金を支給して終了しました。しかし、米山奨学事業そのものは、当時の日本のロータリー指導者たちに共感と賛同をもって受け入れられ、「ロータリーの国際奉仕として最もふさわしい企画（1956 年の第 60 地区大会決議文より）」として、全国のロータリー・クラブの共同事業へと発展的に継承されたのです。

“月に煙草 1 箱を節約して”を合言葉に、全国に寄付が呼びかけられるとともに、1957 年には、財団化を念頭に、全国規模の「ロータリー米山奨学委員会」が組織され、翌年には新組織のもとで、全国の大学から 8 人の奨学生が採用されました。

10 年におよぶロータリアンの献身的な尽力の結果、文部省（当時）より念願の財団法人の許可が下り、1967 年 7 月 1 日に、財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。今日にいたるまで、日本の全地区の多地区合同奉仕活動として、他国に類を見ない大規模な国際奨学事業として発展を続けています。2004 年 11 月の国際ロータリー理事会では、長年、日本のロータリアンがこの奨学活動を通じて世界理解と平和に貢献していることに、称賛が送られました。

（財）ロータリー米山記念奨学会

***** 担当者より *****

会報委員 長井 章

年明け早々、暗いニュースが続きますが今年も元気に明るく行きましょう。

次回《2月3日》の卓話予定

「イニシェーションスピーチ」

横溝 亘 会員